

令和6年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	浦幌町	代表者名	井上 亨		
担当者部署(属性)	企画担当	担当者部署名	まちづくり政策課	連絡先電話番号	015-576-2112
担当者役職	参事	担当者氏名	菅野 泰範	連絡先E-mail	
住所	089-5692 北海道浦幌町字桜町15番地6				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署			
担当者氏名		連絡先電話番号		連絡先E-mail	

1-3. 支援を求める内容

支援方法	職員向け啓発・研修（単独）	事業名（予定）	自治体DX機運醸成事業
概要	自治体DX推進の意義を職員に周知徹底する。 行政手続オンライン化により住民の利便性の向上と業務の効率化を目指すため、業務プロセスの改善・改革の必要性について機運醸成の機会を設けアドバイザーによる助言をいただきたい。		
支援を求める分野	人材（DX推進のための機運の醸成）自治体システム標準化・共通化 行政手続オンライン化		

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	有	71	令和6年8月1日	講演	実地
	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和6年7月23日	講演(実地)	14時00分	15時30分	
				活動時間（分）	90
2-2.	会場名	浦幌町役場	最寄駅	浦幌駅	
派遣場所	所在地	北海道十勝郡浦幌町字桜町15番地6	最寄駅からの交通手段	徒歩	

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	白井 芳明
評価	大変よい
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	本町のDX推進に向けた取組について他自治体の取組状況などの知見をもとに的確な改善策を示していただいた 自治体DX機運醸成講演会のテーマ設定や資料の作成方法などについてアドバイスいただいた
アドバイザーへの要望事項	講演会終了後にアンケート調査を実施します。アンケートの回答を共有させていただき、今後の取組につながる助言をいただきたい

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	合計人数	31人	
	属性	自治体職員	住民	企業・団体
人数	31	0	0	0

4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	行政手続オンライン化を目指しているが、フロントヤード、バックヤードともに現在の業務手順（業務マニュアル及び業務フロー図等）の整理がされておらず、デジタル化の効果を最大限に活用できる状況にない。また、業務の属人化により人事異動時の引き継ぎがスムーズに行えない、業務内容が可視化されていないことにより非効率な作業を改善できない、事務処理ミスの発生原因を特定できない、見過ごされるなどの課題がある。
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	課題解決を目指したフロントヤード改革を進める手順やサービスデザイン思考に基づくツール選定の着眼点などのノウハウを蓄積することで改革の精度を高め、業務マニュアルの導入や行政手続オンライン化などを盛り込んだ本町のDX推進計画の策定に活用する。

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	自治体DX機運醸成講演会を企画し、アドバイザーに「自治体DXへの取組～これからの時代に備えるために～」と題して講演いただいた。 講演では住民ニーズの多様化と多彩なデジタルツールについてなど、社会全体のDX化の潮流や、フロントヤードとバックヤードの一体的な改革と一気通貫のデジタル処理についてなど、業務改革(BPR)の必要性について、職員の共通理解を図るうえで貴重な内容を講演いただいた。	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	機運醸成に的を絞ったテーマで講演を組み立てたことにより、職員が自分事としてこれから行政サービスを維持するには今からしっかりとデジタル社会の実現に向けた対策を行っていくことの必要性、重要性に気づくことができた。基幹業務システムの標準化ステップとガバメントクラウドの特徴、デジタル化の方向性や業務改革との関連などについて、先進自治体の実例や様々なデジタルツールの活用方法についての説明を受け、小さなことからでも改革を始めることの重要性に気づくことができた。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	今回の講演はDX推進に向けたきっかけづくり、機運醸成が主なものとなっており、今後、具体的にDXを推進するためのステップ(全体方針の決定、推進体制の整備、DX取組の実行)についてもアドバイスをいただいた。このステップを着実に進めていくため、今後と講師からアドバイスをいただきたい。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 アンケートの内容は以下のとおりです。また、集計及び分析結果は添付資料のとおりです。 1. 勤務年数 2. 講演会の満足度 3. 住民ニーズの多様化についての理解度 4. 業務改革の必要性についての理解度 5. 講演会の長さ 6. その他 分析結果は次回のアドバイザー派遣の際にアドバイザーと確認・承認していただいた後に添付いたします。	
4-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	③現段階では課題・問題が残っているため未定
4-4. 事業の最終的な目指す姿	業務改革BPRの重要性を職員全体で意識し、しっかりとしたBPRを前提としたデジタルツールの活用により、行政サービスの向上に繋げていく事業の検討、予算への反映を図っていきたい。	

5. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可 掲載可

https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/

なおくその他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

